



2008年度

すぎなみ社会起業家塾

～ 社会をつなぎ、デザインする人になる～

『社会をつなぎ、デザインする』

キックオフ
2008年6月4日(水)

新谷大輔

(株)三井物産戦略研究所 研究員
立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科 兼任講師

まずは社会を知る

社会の動きに敏感になる。

社会の仕組み(つながり)に気付く。

社会起業家の発想は社会
を知ることから生まれる。



そして、デザインする。

デザインの原点

私たちは、皆デザイナーです。

日常生活の中で私たちが毎日繰り返しているのはデザインすることです。

デザインこそが、全人類の基本的な営みだからです。

デザインのみを取り出して自己目的化しようとする試みは、この事実に反するものです。

つまり、デザインこそが、生命の最も本質的な源泉なのです。

(ユニバーサルデザインの原点: DESIGN NOW AUSTRIA)

ソーシャル・デザイン

人と人、人と地域社会、地域と地域など、バラバラになっているものをつなぎなおす作業を通して、社会を作っていくこと。



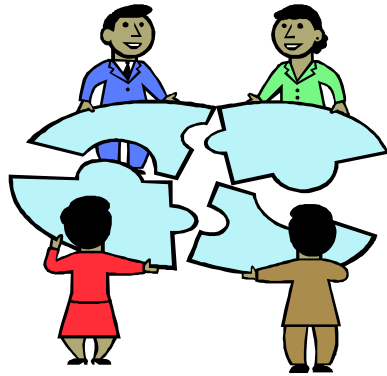
つながり = ソーシャル・キャピタル



ソーシャル・デザイナー

社会とのつながりに気付き、社会情勢やトレンド、将来像をふまえ、地域を俯瞰で見て、新たなつながりを作っていくことができる。地域でつながりをどんどん自ら作ることが出来る人。

ソーシャル・デザイナーとは



いろいろなリソースを発見し、俯瞰で見て、つないだり、編集したりすることが出来る人

つながりのポイントを見出せる人



デザインの原点

多様な「私」を認識する

強みと弱み = つなぎ目 をみつける発想力

未来を認識する

長期的な視点 = つなぎ目 からの発想力

社会を認識する

「情報収集」によって得られる社会や顧客の
ニーズ つなぎ目 となる。

「つなぎ目」を意識した提案力

すぎなみ社会起業家塾が目指すこと

個人と個人、個人と企業、個人と区、区と企業、企業とNPO、区とNPOなど、個人とNPOなど、いろんな異なる人や組織の間の「**つなぎ目**」を見つけたり、作ったりしながら、つないでいく、「協働」という視点をまずは考えていきます。

そして、ひとりひとり、ないしはグループで、**新たな「協働」のモデル**を考えます。そのとき、社会起業家精神を注入し、ビジネスの視点を必ず加えていくようにします。最終的には、ひとりひとりが「**つながり**」を意識し、**社会をデザインする社会起業家へと成長するためのきっかけ**を見い出してもらえればと思います。

すぎなみ社会起業家塾が目指すこと

この講座では、原則、最終発表会の時点で、各自、グループ(または個人)で、社会的な事業モデルを考案することが目標となります。

社会的な事業モデルとは、何らかの社会的課題を解決を目指すもので、自身の利益以上に、社会的な目的性が重要です。

話を「聞く」ことが、この講座の目的ではありません。主体的に参加し、自ら自身のアイデアを考え、提案することが必要になります。

2月28日の発表会までの長丁場となりますが、よろしくごお願い申し上げます。

ありがとうございました。



新谷大輔

E-mail: D.Shintani@mitsui.com

HP: <http://das.seesaa.net/>

(株)三井物産戦略研究所 <http://mitsui.mgssi.com/>

三井物産 CSR <http://www.mitsui.co.jp/csr/index.html>

立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科
<http://www.rikkyo.ac.jp/~z3000142/sd/>

NPO法人 社会的責任投資フォーラム(SIF-Japan)
<http://www.sifjapan.org/>

